

平成 15 年度 環境システム学科卒業論文 (A, B, J, O) 発表会プログラム

平成 16 年 1 月 26 日 (月)
熊谷キャンパス 8101 教室

09:20-09:30 開会のあいさつ 小川 進 助教授

Session A

司会 宮田 大輔

1. 09:30-09:40 田中 美帆 (山下研) 環境教育への応用を見込んだ対環境意識構造の解析
2. 09:40-09:50 小村 純子 (山下研) 三重県志摩町における環境意識の構造について
3. 09:50-10:00 大平 麗子 (山下研) 拡張 Collatz 問題
4. 10:00-10:10 市瀬 絵理 (山下研) 個体サイズと休眠戦略に関するシミュレーション
(休憩 20 分)

Session B

司会 金子 奈津子

5. 10:30-10:40 加藤 和憲 (小川研) 福島県における野生生物の生息空間評価
6. 10:40-10:50 南 理恵 (小川研) 空中写真による釧路沖地震の被害推定
7. 10:50-11:00 永石 香奈 (小川研) リモートセンシングによる諫早干拓事業の環境への影響評価
8. 11:00-11:10 佐藤 久未子 (小川研) 空中写真による九州豪雨の水害評価
9. 11:10-11:20 太田 幸則 (小川研) リモートセンシングによる奥多摩湖の水質モニタリング
10. 11:20-11:30 伊藤 久朗 (小川研) リモートセンシングと GIS による物質循環の季節変動とその相互関係
11. 11:30-11:40 横井 道太 (小川研) GIS によるエコトイレの環境負荷軽減の評価
12. 11:40-11:50 石川 真弓 (小川研) フラクタルによる樹木の数理モデリング
13. 11:50-12:00 齋藤 智慧 (小川研) 衛星データを利用したサンゴ礁底質分布図の作成
14. 12:00-12:10 帷子 京市郎 (小川研) SAR によるアマゾン河支流の流量推定
15. 12:10-12:20 稲波 崇 (小川研) リモートセンシングによる台湾地震の被害推定
(休憩 60 分)

Session J

司会 白木 洋平

16. 13:20-13:30 富田 琴 (後藤研) ジオインフォマティクスを用いた三ツ又沼ピオトープの生態評価
17. 13:30-13:40 大日 向幸子 (後藤研) 小川町における野鳥の分布図の作成及びその利用に関する研究
18. 13:40-13:50 篠原 康子 (後藤研) 奥多摩湖上流域における窒素・リン収支と土地利用の関係
19. 13:50-14:00 戸畑 恵美子 (後藤研) 熊谷市周辺における GIS による不法投棄監視システムの構築
20. 14:00-14:10 浅見 佳代 (後藤研) GIS による深谷ねぎ適作地分析
21. 14:10-14:20 西野 友子 (後藤研) 小川町における植生分布とリスの生息地評価
22. 14:20-14:30 梶原 淳平 (後藤研) 雷予測システムの構築
23. 14:30-14:40 鶴沼 妙子 (後藤研) 荒川上流域における土地利用と植生分布変化
24. 14:40-14:50 木村 仁美 (後藤研) GIS・リモートセンシング技術を用いた
熊谷市のヒートアイランドに関する研究
(休憩 20 分)

Session O

司会 鈴木 英恵

25. 15:10-15:20 内海 秀吾 (吉岡研) ガムのポイ捨てに関する研究
26. 15:20-15:30 田代 優子 (吉岡研) 東京都におけるごみの発生量と社会経済指標との関係に関する研究
27. 15:30-15:40 出野 恭隆 (吉岡研) 長野市における一般廃棄物の発生要因および排出量の予測
28. 15:40-15:50 田部井 美名 (吉岡研) 東京都におけるごみの発生構造に関する研究
29. 15:50-16:00 後藤 貴子 (吉岡研) 群馬県におけるごみの質と量について
30. 16:00-16:10 鶴飼 晶子 (吉岡研) コンビニエンス業界における環境問題の取り組み
- 「環境」への認識の違いが及ぼす取り組みの違い -
31. 16:10-16:20 櫻井 綾子 (吉岡研) 群馬県高崎市における地域環境の現状と今後のあり方について
32. 16:20-16:30 上野 敦子 (吉岡研) 埋立地におけるガス発生量に関する研究
33. 16:30-16:40 渡辺 明宏 (吉岡研) 鉄道駅における廃棄物処理
34. 16:40-16:50 高橋 洋介 (吉岡研) 家電リサイクル法施行による家電ごみに関する変化
35. 16:50-17:00 山崎 一真 (吉岡研) 産業廃棄物の処理システムの現状と問題点
36. 17:00-17:10 中島 徹也 (吉岡研) 飲料容器の今後の在り方

17:10-17:20 閉会のあいさつ 吉岡 茂 助教授

発表時間 8 分 質疑応答 2 分 (1 鈴 6 分, 2 鈴 8 分, 終鈴 10 分)